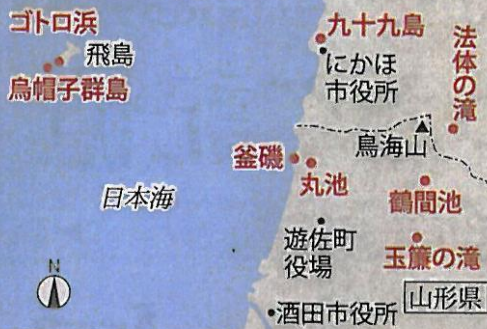


主なジオサイト



日本ジオパークに認定された鳥海山・飛島ジオパークには、地球の歴史や鳥海山と周辺地域の成り立ちに触れられる多くのジオサイト（見どころ）が点在している。酒田、遊佐、飛島、由利本荘、にかほのエリアごとのテーマは、大地の多様性を感じる不思議の島、ポコポコと水が湧き出る湧水の郷などさまざま。特徴的な見どころを紹介する。

第2部 見どころ

① 酒田エリア

日本ジオパーク認定

奥深き鳥海山・飛島

酒田エリアのテーマは「大地と自然」。鳥海山周
「イヌワシが舞う多彩な 辺では国指定天然記念物

イヌワシが舞う大地

のイヌワシをはじめ、十土地の両方が、地滑りな
数種類の猛禽(もうきん) どでできたからだ。そし
類が確認されている。イ て、同じく地滑りにより
ヌワシが生息できるの 多くの滝や池も形成され
は、外から敵が近寄りに た。
くく巣を作る高い崖 鳥海山周辺の環境を猛
と、狩り場になる開けた 禽類保護センター(酒田

メモ 猛禽類保護センターでは野鳥観
察会を定期開催している。11月13
日はタカの仲間・チュウヒを観察する。同
センター0234(64)4681。



「のぞき」から見た鶴間池。周囲のブナ林
が紅葉している。酒田市八幡総合支所から
約22キロ。=同市、10月21日

ライトアップされた玉簾の滝。産直ららの
駐車場から約450メートル。酒田市、8月11日

市の長船裕紀自然保護
専門員は「行動範囲が広
いイヌワシに十分な山塊
面積があると評価する。
イヌワシが生息するに
は、飛行に適した風など
も必要だ」といい、多様な
条件がそろって命が育ま
れている。

滝の代表格が県内随一
の落差63メートルを誇る「玉簾
(たますだれ)の滝」。
迫力ある滝と合わせ、切
り立った柱状節理が見事
だ。日本が海底だった時
代に海底火山の噴火でで
きた玄武岩で、大地の歴
史を感じられる。

鶴間池は、地滑りでで
きたくぼ地に沢水が流入
してつくられた。周囲に
はブナ林が広がり、今季
は既に終了したが秋の紅
葉など四季折々に美しい
表情を見せる。鳥海山山
頂に向かうように走る県
道368号の駐車帯、「の
ぞき」と呼ばれる場所か
ら俯瞰(ふかん)できる。
ここから急斜面を下ると
と40分で池に着くが、か
なりきつい斜面のため、
しっかりした装備と覚悟
が必要だ。

(酒田支社・坂本由美子)